



No.12 2016.2.26

地図から東の海側は月が照らす。暖かくなった中に地面が解けてまた凍る...という
くり返し。道路のゆがみや傾斜など、とくすべりが集まる一方、温度によって地面の凍り具合は
刻々と変化する。崖のとくすべりはスピードが加速してしまうこともあります。とくすべりがいつか
人がいたところから、崖で「こういふふうにとくに集ると危ない? 危なくない?」と、実際に斜面を
使った実演しながら、おたけで乗り方を考えました。「行くよー!」と声をかけながらスタートし、
危ないね、ブレーキが効かずに足を滑り落ちて止まれないね。両手で手綱を握り、足を
なげきコントロールできない。前をよく見ること、大勢で乗るとスピードが加速すること...。いつか
おたけをついて、おたけが石を蹴り飛ばし合いました。その後またとくすべり遊びのとき、「行くよー!」と
おたけが「おたけが石を蹴り飛ばし合いました!」「今やれと両手でどっか押さえておたけ!」とおたけが
おたけが「いまだ危ないね。おたけの声聞かれない?」と
声をかけました。おたけが「おたけも上れない。おたけがどうやって伝わるの?」と、おたけが

話は全く変わりますが、少し前 実は馬のラッシャーとの関係で大変苦しかったことがありまして、
 青森県に連れ出された時、もしも乗れ出したら 相手は馬としては小さくても 一馬力のチンチン、
 止めようがないので 日づうから 糸リ御でなくてはならぬ、しつてちゃんとしなければと。しかも
 その頃 ぼんやり「AAAのびのびの園談、どんなことを話そうか。」「びのびのメニューは…」と上の空
 で 馬を引いていた時に 2度も手綱を引きちぎって 逃げられてしまい、引き手として自信を失っ
 ていました。(馬は不思議な生きもので、無心で馬のことにだけ専念して いる時は 乗れ
 ないのに、ネウがこういう上の空な気まぐれの時が 最も 戻ってくるのです。) どんな馬の 飼育者の本を
 読んでも「乗れるの中で 1度位もつたる 生きものだから、人間が 上と 考え込んでは、」「なめられては
 いたくない。」と それこそ 体面会約「言うことをきかせるための力での 糸リ御の仕方」な しつけ方
 が 大半です。でも 競馬や 乗馬のために 飼っているのではないし、ムチで 打たれたり けがし、でも
 乗られるのは 困る。お互いが 互いによく 暮らすためには、一歩 互いの 関係を作っていくしかないのだと。
 と 日々 悶々としていました。

そんなとき、日本の南端、与那国島で馬と暮らしている河田様さんの「馬語手帖」「はしっこに、馬といふ」という二冊の本に出会いました。河田さんは馬との関係系にあり、しつと称する関係の作り方に才気と王道感じ、「ウマにたいしては威圧的にふるまうのはいいのかな？」という素朴な疑問をたずねておられました。「ウマの話を聞く」ときに焦点をあてた「馬語手帖」には3歳の子と共感しました。「はしっこに、馬といふ」では、非力な女性が馬と暮らすのにどうしたらいいかという関係が染み渡るのが、というところを考えると、うまが書かれています。「とにかく毎日一緒にいる」ときに始まり、「ウマの発するサインを覚悟する」「いっせいに距離感をつかむ」とき、従来は馬を威圧するために使われていた「馬がNO～をやらないと言っても、いったんそれを受けとめる」ときなど、いくつかの点を実践して上で「パッシブ(受動的な)コミュニケーション」を獲得していきます。要はアクティブ(能動的な)「ウマに何かをさせる」ときに慣れているヒトが果たしてウマはそれを感知し、言うことを聞かずに方が賢明だと、従うのみにたりますが、パッシブ(受動的な)「傍らにいて」ただけのようなヒトがウマと対話してゆく「ヒトがウマをコントロールする」のではなく、「ウマを思い通りに動かす」のでもなく、「ウマが今どう思うか、いかに自分の立場で考える」ようにする、というものです。これを考えたとき、まさに藤をたぐって「どうどう！」と声を上げてきました。

というので、ちやうどその正反、信州には深いまじまった積雪があり、凍って滑るからラッキーと着た歩きでなくなり、ということにラッキーで「連れ歩きがなくていい」が次に「制歩」する必要がなくつたので、その存在はもうなにと「成程どうにかならせたよ」とする位でなく、「ただ傍らにいてエサをくれたり、餌の掃除をしてくれる位」といふと変に。その途端、おれと馬との関係が変わったので。ちやうど馬場の夜に羊小屋を建てるため、毎日猛おじいちゃんやラッキーの横で作業していたので、日がたて、馬の横で過ごすことは、文子通り「一日中傍らにいます」に「なつていた」のです。ただ日々馬の様子をみれば「お腹空いたの?」「遊びたいんだね。」と話しかけてみると「何だかちやんと前と違うぞ。」と感づいたのが、すっかり身が本を預けて甘んじたり、普通に厩から馬場へ自分から移動したり反抗することもなく、おれに「おれとの関係が変に」にききました。それがちやんと逆戻りしたのは、ひつひのおおきくおれが追分宿へ遊びに行ったとき、おれも「おれが馬に乗るのに暴れられは困る、ちやんと制歩はきき」という言葉をおれが聞いてしまったとき、前足で地面を掻き、鼻を鳴らし、自己主張し、ひとへに主張し、おれが手にとまらうにわかりました。

何でこんな話に飛んだかという言葉を遊びに度しすが、友だちと大人が「こうしてアトイアアイン
だエ」と言い聞かせようとして、何となく雰囲気では話しかけていた。その子は、その10-11の話を全く聞くと
しからずのびすが、次の日にオモとにやぐ一着にその子の傍らにすうといて、たまぐ〜すまぐという声にエがらす。
愛着かな道路各で友だちも一着に何度も遊びを楽しんでいて、時々に突然「行くよー!」と叫ぶに声を
かけ始め、さらには「もう今は卒業してふいふ」「わかんないね」とオモの目を見て滑り始めたのだった。友だちが
「卒業する」人から「共に遊び」人になり、大人が「傍らにいる」人になると、その子の在り方がぐうと変化して
ことを感じました。夏にわがわがいたつもりで、子がとも、馬もひたすら「傍らにいる」ことを繰り返す
ことが関係を作っていく上で大切なこと。と時を問うて、突然することができました。友だちが「行くよ!」と言
たね」とその子の変化を受け入れていたのもうれしかった出来事でした。

両者の関係と子どもとの関わりを並行して考えるために、その素直に感じたままを書くのは矢張りとも思ったが、
これからの子育ての保育と子どもの暮らしの中でどんなことを発信したいか...との思考を促すために、4年前、ひろの
保護者会で、自然農法で作物を育てると、子育てと自然の農業にはたくさんの共通点がある...というお話を
して2ことがありました。畑で作物を育てると、その作物が自ら伸びる力を信じて必要な時に草とりや水やり
の手入れが必要で、沢山の量は採れなくても十分な作物ができる。肥料をたくさんやりすぎると作物は
自分の伸びる力が弱くなり、味も薄くなる。つまりはその作物の力を信じる、ということ。子どももそう、その子
が自ら伸びる力を信じあきらめずに出し過ぎることなく、必要としている時に、抱きしめてあげたり手を貸して
あげればよい...とお話した記憶があります。今は信じて待つことから、自然農法や子育ての仲間にな
るべくあり、その後自然の中で子どもも大人も伸びることに過ぎず、ひろのいう場所ができて、ずっと農的な
暮らしと森の中の保育の時間を並行して過ごしてきました。両者のなかには驚くほど共通点があ
ったとあり、畑で作業している時に「あ、これは子どもの育ちとよく似ているな。」とあったり、森で
過ごす「人間も自然の中の生き物と一緒に、四季折々の中で様々な力を蓄えているなあ」と
感じたりすることが多くなりました。7月より上野教育会では、植物や動物と子どもと一緒に
とらえるなど...と各素直に思う方もいらっしゃるかもしれませんが、それらの暮らしの中で、畑で
作り、子どもたちと犬を過ごす中での実感もこれからは発信していきたいです。
昨年からは自然の暮らしに馬のラッシーが加わり、春には羊たちもやって来ます。農的な
生活の中での新しい出会いや気持ちとひろの保育の中にかかっていること...と楽しみにしている春です。

: 美和子

＼ おおきいくみだより ！

今年度も残りわずかとなりました。「ぼくは 4月からくりさんになるんだ」という声がまっぼくりさんから聞こえました。おおきいくみのひとたちもいよいよひとつ 大きくなることへの 意識が 高まり 始めた 今日 この頃です。

思えば 今年度 始まったばかりの 4月の頃、おおくりさんが掃除で使う 雑巾を縫いながら「ああ～もう小学生かぁ～」とつぶやき「え～！まだまだ1年たがりあそばさうよ！」とこんな やりとりをしたのが ついこの頃のように 感じます。1年という長い 時間の中で ひとつ ひとつ 思う存分に楽しんできた おおくりさん。おおきいくみでは カリキウムをもって 過ごすことも多くありましたが、今年の 10人のおおくりさんが 楽しもうとする 気持ち、楽しむ 声、そのひとつ ひとつを 盛り上げてきたように 思います。そんな おおくりさんと スタッフ だけで 2/22の保育後から 一泊を過ごす「おおくりキャンプ」がありました。

おおくりさんに この「おおくりキャンプ」があることを伝え子と「やった～！」と大喜び。この おおくりキャンプは 日程と場所が 決まっていますが キャンプの中身 内容は 自分たちで作っていきます。何して 遊ぼうか…。何を 食べようか…。どうやって 寝ようか…。など 自分たちで 考えて いました。当日の朝、大きなリュックサックを背負ってやってきて 悠太は「楽しめば 楽しめば 何かが ないよ。楽しめば 緊張する！」とハキテンです。他のみんなも同じです。この 楽しんで 楽しんで 何かが ない…。の 気持ちが そのまま 次の日の 朝まで 続きました。

キャンプからの 流れで 二日目も 通常の ひろびでの 一日を過ごし、帰りの 集まりの 時間に キャンプの 振り返り をしました。それぞれが 印象に残ったこと、楽しかったこと、感じたこと、面白かった事 を 目を閉じて 考え、ひとりひとり 語りました。「もっと 泊まりたいな」という 声も たくさん 聞かれましたが、ひとりひとりが しっかりと 楽しかったという 事を 話してくれました。ひとりが「くじらごっこが 楽しかった！」と 話すと その場で 一緒にいた 人も 近くにいた だけの人も 車まで とうとう 笑っています。「おずみごっこ」もあったそうです。これも 他の人も けけけと 笑っています。夕食、お風呂の 合い間、合い間 にあつた 時間でも 面白いことを いろいろ していました。大人たちも 一緒に おしゃべりしたり 一緒に 遊ぶ こと もありましたが、大半は ねだちと 過ごす 時間でした。親元を 離れて 身支度も 自分で やることは 所々 ぶんばつ がんばっている こと もあった かもしれません。でも 振り返りで 出てくるのは、お腹を 抱えて 笑ってしまう ことばかり…。これは 手ごわい プログラムや 内容で 出てくる 喜び ではないな…。自分たちで 考えた 遊び だから 出てくる 喜び なのだろうな と思いました。時々 おふざけもして ハメをはがして 大笑いして…。11月の 仲間たちと 一緒に 1日から 楽しめ、この 仲間たちと 一緒に ハメをはがしても 大丈夫！と 安心 して いられたのかな…。

おおきいくみは どの 時 どの 時 考えて いくので おおまかな プログラム は あまけい、去年と 同じ ということ は なく 毎回 作られて いくもの、おおきいくみと 作っていくもの だ と思います。今年は 今年のおおきいくみたちで 作ってきた おおきいくみの 日だ と思います。

陽麗の 振り返りで「この 10人との 思い出 を もっと 作りたい」という 言葉に うなづき 他のおおくりさんの 姿が 印象的 でした。残り わずか は ひろびの 時間 を 日々 大切に 自分 勝手に 遊んで、聞かして、楽しんで いたいな。そう 感じました。

：美穂

＜文中敬称略＞

ひろびの 森の 仲間たち ～ 森の中で 待つ ね！ ～ 2月、イヌコリヤナギ

立春もすぎ、暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続きますね。でもお日様の光は確かに強くなり、日もどんどん長くなっていきます。そんな光を浴びて、少しずつ膨らんできた木の芽があります。寒いこの季節、みているだけでもしほりしてしまうふわふわの木の芽、イヌコリヤナギの銀色の冬芽です。よくみると同じ枝につるんとした赤色の芽もあります。ふわふわの芽は花芽、つまり蕾で、3月に入るとむくむくと膨らんで花が咲きます。花といっても美しい花びらはなく、赤と緑色の毛虫のようなちよと不思議な花が咲くのです。そして赤色の芽はやがて葉っぱになるのです。

イヌコリヤナギは12月にお話したイヌザンショウと同じく「イヌ」という字が頭についています。「犬行李柳」と書きますが、やはり「イヌ」がついてい「行李柳（コリヤナギ）」という木があります。行李柳はその名の通り、着物などをしほり「行李（ニウリ）」を作るのに使われていて、昔は火田の縁などに植えられていたそうです。枝がとてもしなやかで行李だけでなく、かごやイス、海外ではバスケットなども編むのにも重宝されていたそうです。犬行李柳は残念ながら、しなやかさが行李柳ほどではないうえに「否→犬」という字が当てられてしまったようです。

私にとっては、ふわふわのイヌコリヤナギの芽、土、やがてくる春の喜びを感じられるやさしい幸せの木の芽です。イヌコリヤナギの枝で、かご編んでみたらあうかな～、やっほり楽しいかしら～

：菜々



お知らせ

・退園のお知らせ

どんぐりの...くんがご家族のご事情で千葉県に引越しされる事になりました。本日 3/26(金)退園される事になりました。軽井沢に来られた際はぜひ立ち寄っていただき、これから会いたいですね。

・途中入園のお知らせ

どんぐり組に 3/16(火) ...くん が入園いたしました。

どうぞ よろしくお願ひいたします。

- ・来年度 入園予定の方から 行事のご都合で 熊本県に引越しが決まりました。それに伴い 2013年4/2 ~ 2014年3/31 生利の方を追加募集する事にいたしました。周囲の方に お知らせ いただけたら嬉しいです。

・来年度 ひび継続の皆さまへ

このたびは(お)と共に 生活調査表と 健康診断の記録を 同封いたしました。生活調査表は パージ変更の書き換え。右パージは生活や健康についてお書き下さい。健康診断の記録は、体重を お書き下さい。両方とも 3/10頃までに ひびにお返していただきますようお願いいたします。

・卒園・退園の皆さまへ

健康診断の記録を 同封いたしました。ご家庭で 納めて下さい。

- ・3月のえりんこお祭り日 2日(水)・16日(水)
- ・いよいよ おおぐりくんは 3/5(火)が ひびランチ 最終日です。この日は おおぐりくんの 希望メニューを 予定しています。
- ・3/17(木) おおぐりくんが さつまいも パーティをしたいと思っています。みんなが 話し合いながら、決めてほしいので どんた パーティに 臨むのが楽しみです。

・あひまの会について

今年度 最後の日を 親子一緒に過ごします。この一年の歩み、育ちを みんなで振り返り、あひまを伝え合い 今年度を大切に 締めくくりたいと思います。

日時 3月18日(金) A.M. 9:00 ~ 9:15 集合
A.M. 9:20 開始 ~ 11:30頃 解散

場所 ひびの森

持ちもの 親子分の お茶

松ぼっくり・くりグループは、アート作品を入れる袋

・巣立ちの集いについて

新一年生になる 10人と そのご家族と スタッフの集いです。

いよいよ 10人を送り出す時が近づいてきました。仲間と育ち合ってきた 若い日々は一人ひとりの 中にとけてつまっていて、これから 出会う一歩一歩を乗り越える力になるのだろうと 感じます。最後の日、ご家族の方々と、10人の成長を喜び合い、新しい一歩をお祝いしたいと思います。

日時 3月18日(金) P.M. 2:00 ~ 4:00頃

場所 フェアショップ バイブリティキャンプ メインホール

持ちもの お持ち帰りいただくものが いろいろありますので 大きな袋や、子ども選用上靴。

- ・ご家族の 出席人数に 変更がある場合は 3/11(金)までに お知らせ下さい。

・信州やまほろく の 取り組みが 紹介されます。

長野放送 フォーカス信州 「信州創生を目指して」

3月4日 19:00 ~ 19:54

出演 阿部知事 他